

臨床研究に関するお知らせ

宮崎大学医学部附属病院産婦人科では、下記の臨床研究を実施しています。皆様には本研究の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

研究課題名： 子宮底長計測の異常出生体重予測の有用性に関する後方視的研究

1. 研究の概要

子宮底長測定の目的は、妊娠週数相当の長さであるかを観察し、おなかの赤ちゃんの発育状態の指標とすること 胎児発育不全、巨大児、羊水量の異常など、おなかの赤ちゃんの異常を早期発見することです。しかし技術の発展に伴い、近年では超音波検査(エコー)でも羊水の量、赤ちゃんの向きや姿勢、BPD(頭の大きさ)、APTD(おなかの前後の長さ)、TTD(おなかの横幅の長さ)、AC(お腹周りの大きさ)、FL(太ももの骨の長さ)、EFW(推定体重)等、おなかの中の赤ちゃんの発育と健康の状態が分かるようになりました。そこで本研究では、出産を終えたお母さんと赤ちゃんを対象に、出産前最後に測定された子宮底長と実際の赤ちゃんの出生時体重との比較や羊水量異常との関係性を検討することで、子宮底長計測の有用性について明らかにします。

● 本学の実施体制

【研究責任者】

宮崎大学大学院看護学研究科 金子 政時

【主任研究者】

宮崎大学大学院看護学研究科 中島 理子

【分担研究者】

宮崎大学大学院看護学研究科 谷口 光代

2. 目的

出産前最後の妊婦健診時の子宮底長と実際の赤ちゃんの出生時体重との比較や羊水量異常との関係性を検討することで、子宮底長計測の有用性について明らかにすることを目的とします。

3. 研究実施予定期間

この研究は、以下の期間において実施されます。

研究機関の長による実施許可日から 2026年2月28日まで

4. 対象者

2020年4月から2025年3月に本院産婦人科でご出産された方が対象となります。

5. 方法

対象となる方のカルテ情報から、年齢、身長、体重、職業、既往歴、産科歴、最終妊婦健診時の週数とその際の子宮底長、おなかの赤ちゃんの推定体重、羊水量の異常の有無、赤ちゃんの出生時体重を利用させていただき、これらの情報をもとに解析し、子宮底長測定の有用性を検討します。

6. 費用負担

この研究を行うにあたり、対象となる方が新たに費用を負担することは一切ありません。

7. 利益および不利益

この研究にご参加いただいた場合の利益・不利益はありません。参加を拒否された場合でも同様です。

8. 個人情報の保護

研究にあたっては、対象となる方の個人情報を容易に特定できないように、数字や記号などに置き換えて使用いたします。

9. 研究に関する情報開示について

ご希望があれば、研究計画および研究方法についての資料を閲覧することができます。ご希望がある場合は、下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。ただし、個人情報保護や研究の独創性確保（あるいは、特許に関わる事象）に支障のない範囲内で情報開示を行います。

10. 研究資金および利益相反について

この研究に関する経費は、法人運営費で賄われます。

本研究は、企業および団体等と経済的な関与がないため、申告すべき利益相反はありません。

11. 研究成果の公表

この研究で得られた研究成果を学会や医学雑誌等において発表します。この場合でも個人を特定できる情報は一切利用しません。

12. 参加拒否したい場合の連絡先

この研究に参加したくない（自分のデータを使ってほしくない）方は下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。しかしながら、データ解析後、もしくは学会等で発表後は途中辞退することができない場合もあります。

13. 疑問、質問あるいは苦情があった場合の連絡先

この研究に関して疑問、質問あるいは苦情があった場合は下記連絡先へ連絡をお願いいたします。

宮崎大学医学部附属病院産婦人科

氏名 金子政時

電話：0985-85-0988

FAX：0985-85-6149